ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

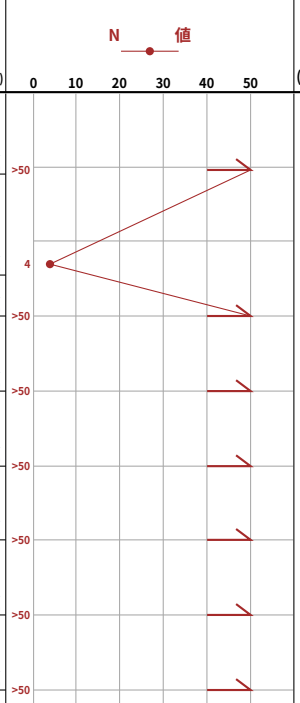
シートNO.

ボーリング名	No.47-1	調査位置				北　緯	36 ° 44 ' 37.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2007-09-11 ～ 2007-09-13	東　経	139 ° 31 ' 03.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	973.79 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 20.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	8.00 m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	973.59	0.20	0.20		盛土(BS)	暗灰			[0.01]アスファルト。		
1					盛土(礫混り砂)(BS)	暗灰	緩い		[0.4]上部は径100mm程度の玉石が混入する砕石,及び土砂。 [1.2]以深は礫混じり土砂。 [1.7]GL-1.5m付近、GL-2.0～2.5mは砂の割合が多く、締まり度が緩い。 [2.5]含水量は多い。		09/11
2											
3	970.79	2.80	3.00								
4					玉石(B)	暗灰			[3.21]径2..4mの大きな単一の玉石と考える。 [4.02]硬質な安山岩である。 [4.54]無水堀のため10～30cm程度の棒状コアで採取される。		
5	968.44	2.35	5.35								
6					玉石混り砂礫(GS-B)	暗灰			[5.44]火山砕屑物。硬く締まっており、全体に固結している。 [6.13]砂は粗粒の火山砂。 [6.52]礫は径10～30mm。 [6.92]所々径100～150mmの安山岩質の玉石が混入する。		09/12
7											
8	965.79	2.65	8.00								09/13

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.00	50			50／10	>50
1.10					
2.15	1	1	2	4／30	4
2.45	50／0			50／0	
3.00					>50
3.00	50／0			50／0	
4.00					>50
4.00	50／0			50／0	
5.00					>50
5.00	50／0			50／0	
6.00					>50
6.00	50／0			50／0	
7.00					>50
7.00	50／0			50／0	
8.00					>50
8.00					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験